

令和3年度第1回千葉市救急業務検討委員会

日時：令和3年7月8日（木）

19時00分～20時00分

場所：千葉市消防局（セーフティーちば）

7階「作戦室」

次 第

- 1 開会
- 2 議事概要報告
「令和2年度第3回千葉市救急業務検討委員会」議事概要
- 3 議題
議題1 救急搬送体制に関する専門部会の設置について
- 4 報告
(1) 報告1 千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」について
(2) 報告2 救急車受入協力一次医療機関リストの作成について
(3) 報告3 新型コロナウイルスワクチン接種による救急搬送について
(4) 報告4 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催期間中の救急対応について
- 5 その他
令和3年度第2回千葉市救急業務検討委員会の開催予定について
- 6 閉会

令和3年度第1回千葉市救急業務検討委員会席次表

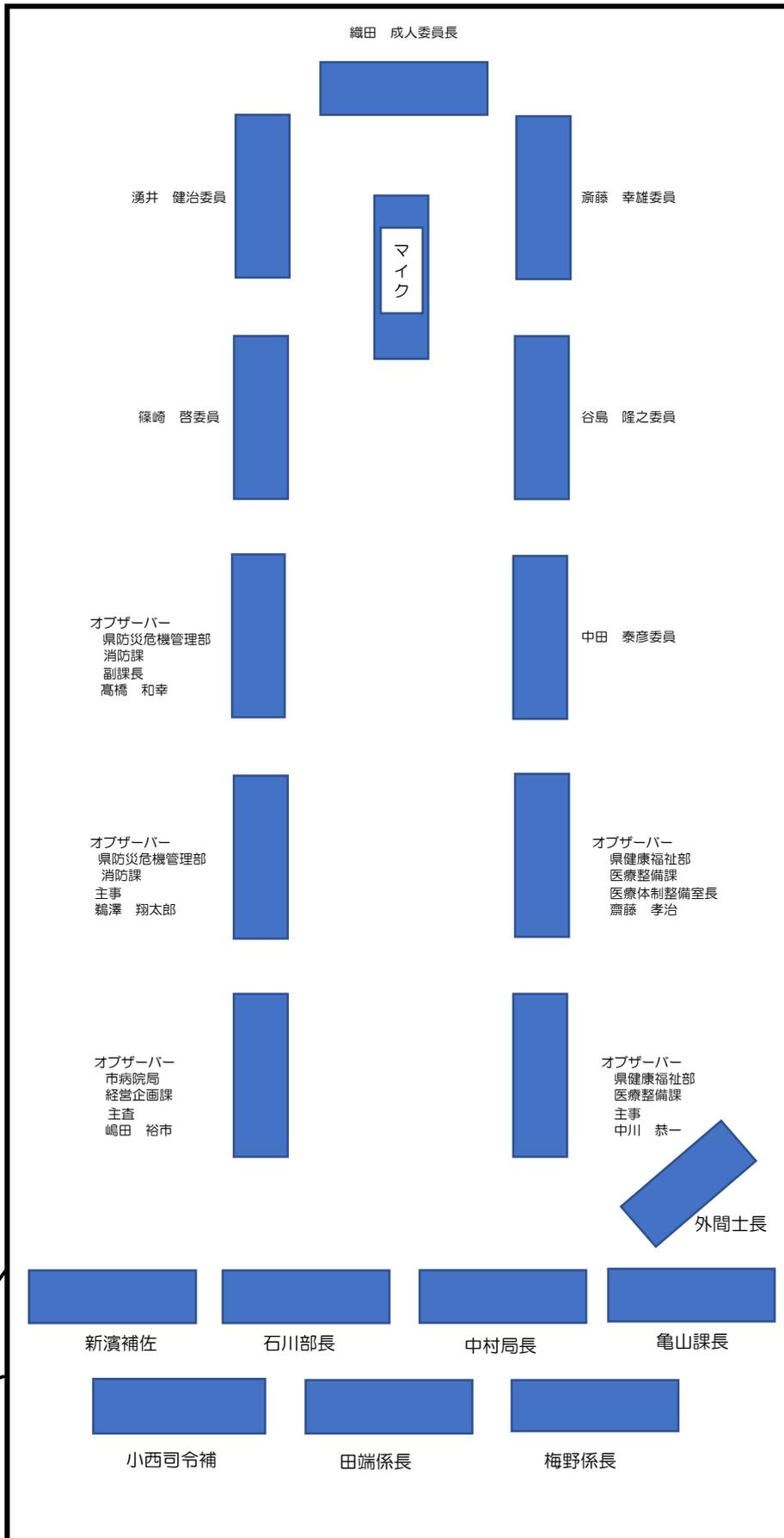
【Web参加】

委員

中田 孝明委員
竹内 純子委員
宮田 昭宏委員
平野 美佐子委員
福田 和正委員
景山 雄介委員
寺井 勝委員
山本 恭平委員

オブザーバー

千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学 准教授 安部 隆三
市保健福祉局医療政策課 課長 風戸 一彦
市保健福祉局医療政策課 主査 赤岩 威俊
市保健福祉局医療政策課 主任主事 堀内 信和



令和2年度第3回千葉市救急業務検討委員会

議 事 概 要

1 日 時 令和3年2月26日（水） 19時00分から20時00分まで

2 場 所 千葉市中央区長洲1丁目2番1号
千葉市消防局（セーフティーちば）7階 作戦室

3 出席者

(1) 委 員（12人）

織田 成人委員長、中田 孝明委員、竹内 純子委員、斎藤 幸雄委員、
石橋 巖委員、平野 美佐子委員、福田 和正委員、湧井 健治委員、
景山 雄介委員、中村 真人委員、篠崎 啓委員、寺井 勝委員、

(2) 事務局

中村局長、石川警防部長、亀山救急課長、新濱救急課長補佐、梅野救急管理係長、
田端高度化推進係長、安藤司令補、小西司令補、外間士長

(3) オブザーバー

医療機関：安部医師（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

千 葉 県：高橋副課長（防災危機管理部消防課）

高橋主事（防災危機管理部消防課）

山崎医療体制整備室長（健康福祉部医療整備課）

吉川主事（健康福祉部医療整備課）

千 葉 市：風戸課長（保健福祉局医療衛生部医療政策課）

奥村主査（保健福祉局医療衛生部医療政策課）

堀内主任主事（保健福祉局医療衛生部医療政策課）

嶋田主査（病院局経営企画課）

4 会議内容

(1) 議事概要報告

「令和2年度第2回千葉市救急業務検討委員会」議事概要

(2) 議題

ア 議題1 指令管制業務に関する事後検証の開始について

イ 議題2 救急隊員再教育体制の変更について

ウ 議題3 ちば消防共同指令センター常駐医師の委嘱に関する要件の変更につ
いて

(3) 報告

ア 報告1 新型コロナウイルス感染症への対応について

イ 報告2 令和2年度主要業務（事後検証、指示、指導及び助言並びに教育）の実施状況について

(4) その他

「令和3年度第1回千葉市救急業務検討委員会」の開催について

5 議事概要

(1) 「令和2年度第2回千葉市救急業務検討委員会」議事概要

令和2年8月19日（水）に開催された令和2年度第2回千葉市救急業務検討委員会の議事概要は、令和2年度第3回千葉市救急業務検討委員会の会議資料として事務局から各委員宛てに事前配布されていたことから、議事概要に関する疑義、意見等なく了承された。

(2) 議題1 指令管制業務に関する事後検証の開始について

事務局から、指令管制に関する専門部会の概要及び専門部会で検討した口頭指導の事後検証体制について、説明があった。審議の結果、上程した専門部会案が承認され、令和3年4月1日から口頭指導に関する事後検証を開始することとなった。

(3) 議題2 救急隊員再教育体制の変更について

事務局から、千葉大学医学部附属病院救命救急センターの開設及び千葉市立青葉病院の受入体制の見直しに伴い、新たな救急隊員再教育体制について説明があった。審議の結果、上程した事務局案が承認され、令和3年4月から開始することとなった。

(4) 課題3 ちば消防共同指令センター常駐医師の委嘱に関する要件の変更について

事務局から、現状の常駐医師委嘱数及び新たな委嘱に関する要件について説明があった。審議の結果、上程した事務局案が承認され、令和3年4月から開始することとなった。

(5) 報告1 新型コロナウイルス感染症への対応について

事務局から、新型コロナウイルス感染症に関わる救急出動の状況、医療機関の受入状況及び消防局の対応について、報告があった。

(6) 報告2 令和2年度主要業務（事後検証、指示、指導及び助言並びに教育）の実施状況について

事務局から、令和2年主要業務における事後検証、指示、指導及び助言並びに救急隊員教育の実施状況について、報告があった。

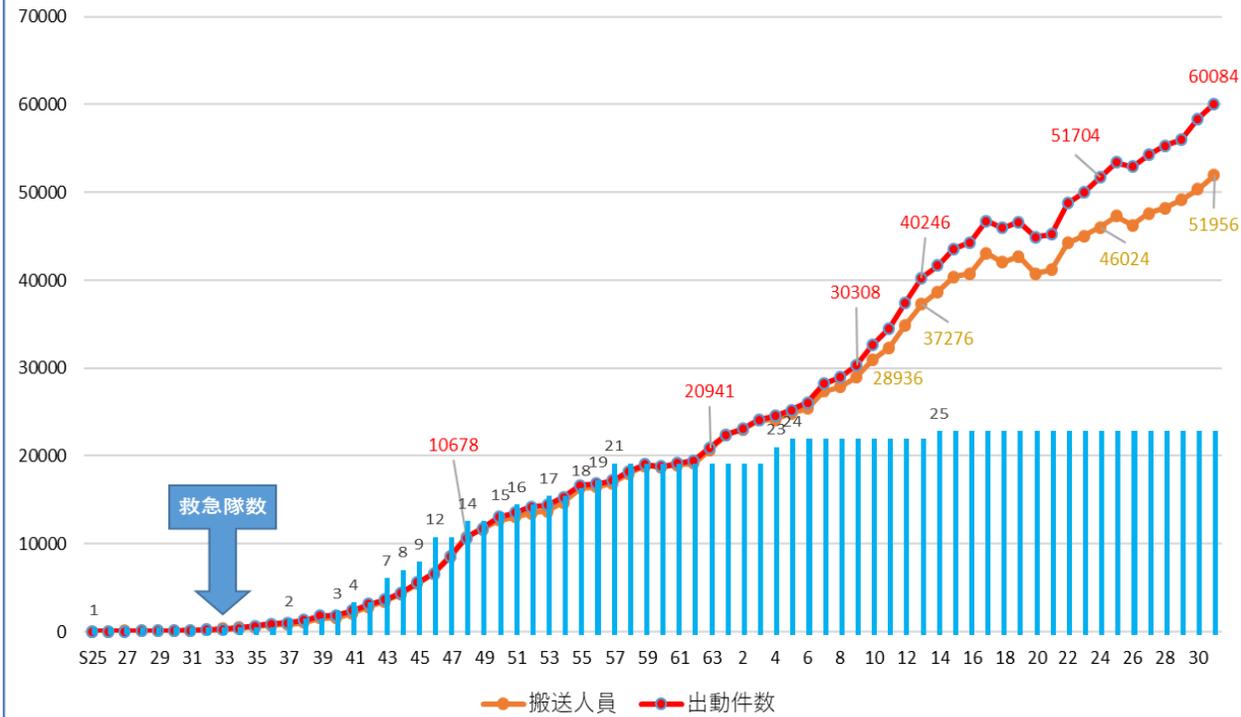
議題 1

救急搬送体制に関する専門部会の設置について

千葉市における救急搬送体制の課題を解決するための専門部会の設置について、御審議をお願いするものです。

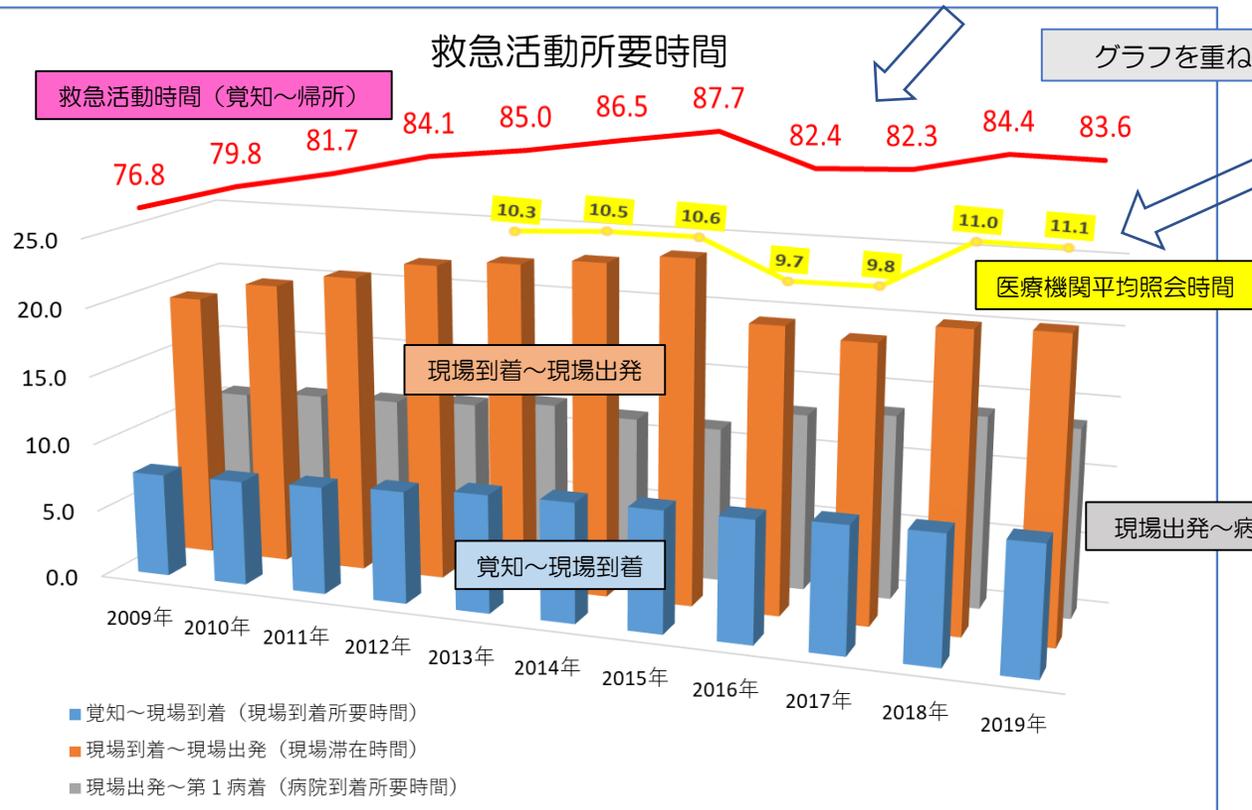
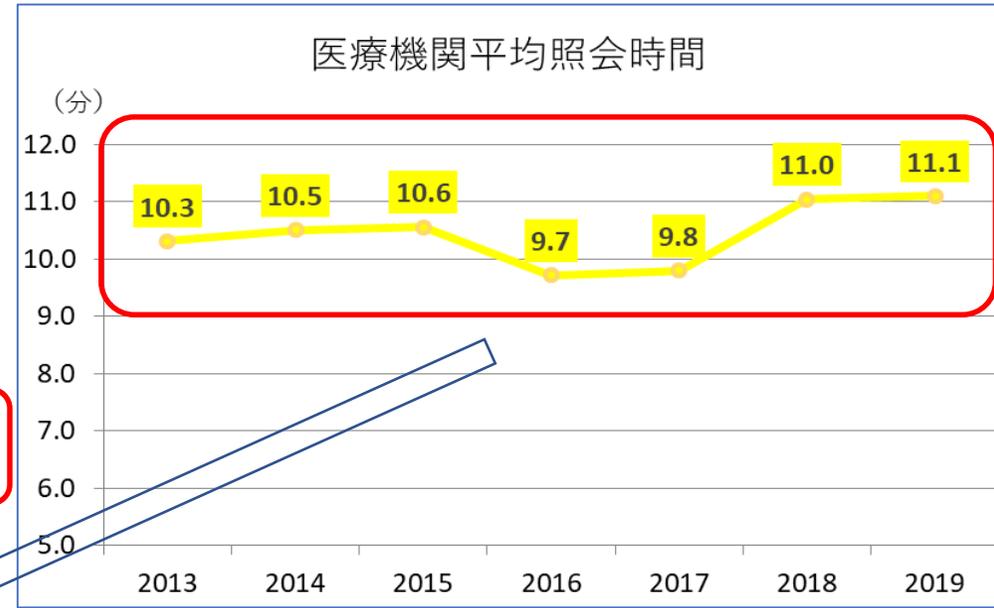
本市の救急業務の現状について（救急出動件数の推移と将来予測）

救急出動状況及び救急隊数の推移（昭和25年～令和元年）



本市の救急業務の現状について（救急活動所要時間の推移）

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
救急出動件数	49,970	51,704	53,396	52,957	54,301	55,293	55,972	58,370	60,084
覚知～現場到着 (分)	7.9	8.2	8.6	8.7	8.8	8.8	9.1	9.2	9.2
現場到着～現場 出発(分)	21.8	23.1	23.6	24.1	24.8	20.6	19.9	21.3	21.5
現場出発～病院 到着(分)	11.2	11.5	12.0	11.5	11.3	12.9	13.4	13.9	13.6
覚知～帰所 (分)	81.7	84.1	85.0	86.5	87.7	82.4	82.3	84.4	83.6

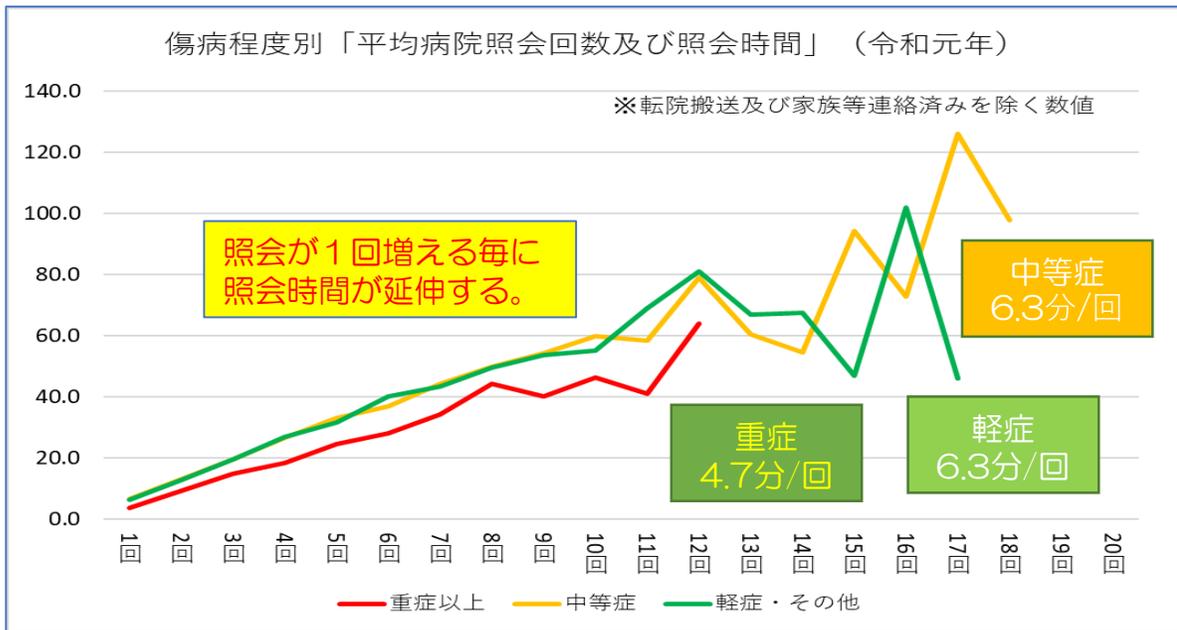
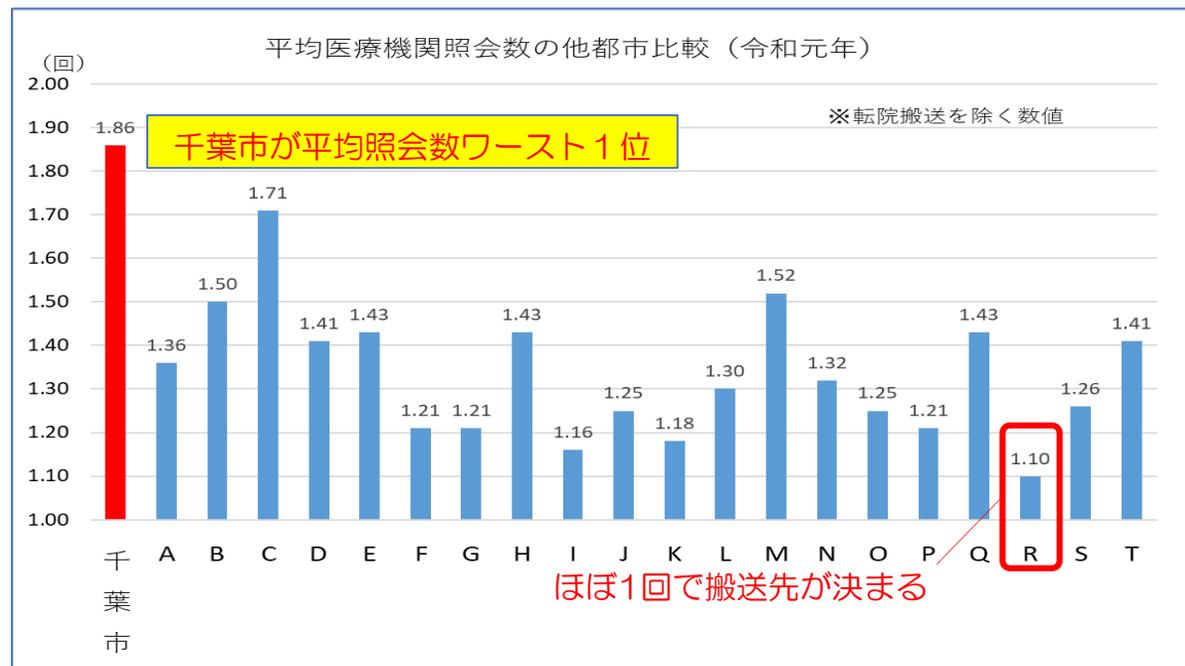
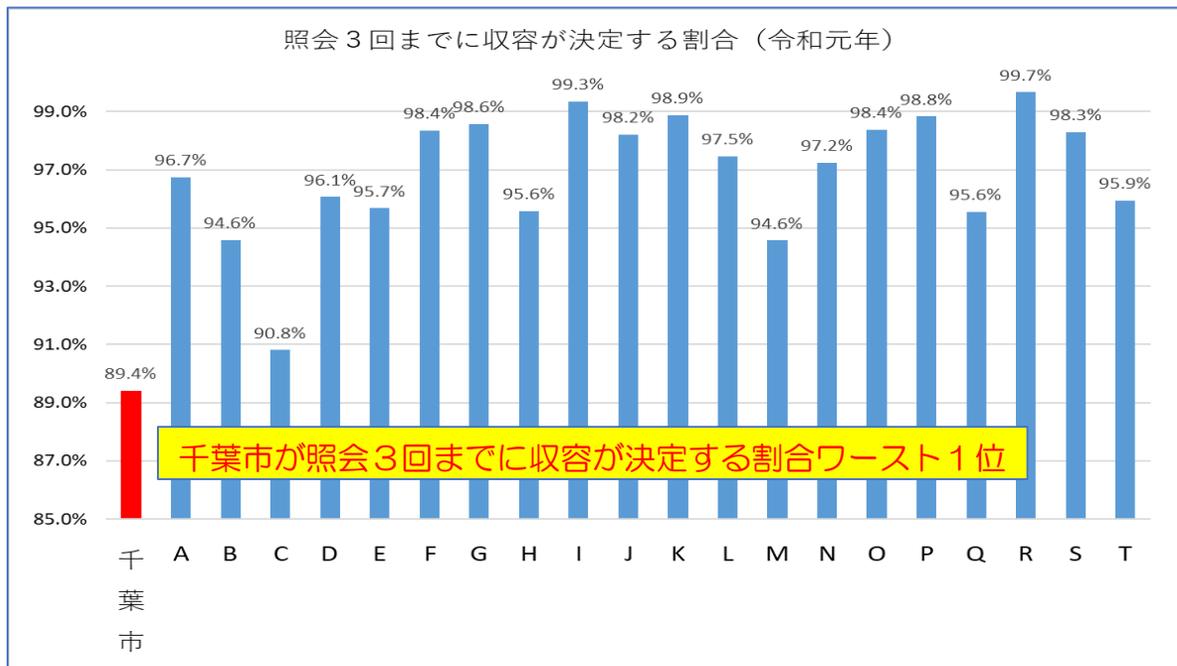


- ・医療機関照会時間に比例し、現場滞在時間が延伸している。
- ・現場滞在時間に比例し、救急活動時間（覚知～帰所）が延伸している。



速やかに収容医療機関が決定するかどうか、救急隊の活動時間に大きく影響する。

本市の救急業務の現状について（他都市との比較）



医療機関平均照会数 1.86回
 照会3回までに収容が決定する割合 89.4%

21都市(政令市及び東京都)のうち
 いずれも千葉県がワースト1位

照会が1回増えるごとに、照会時間が4~6分延伸する。

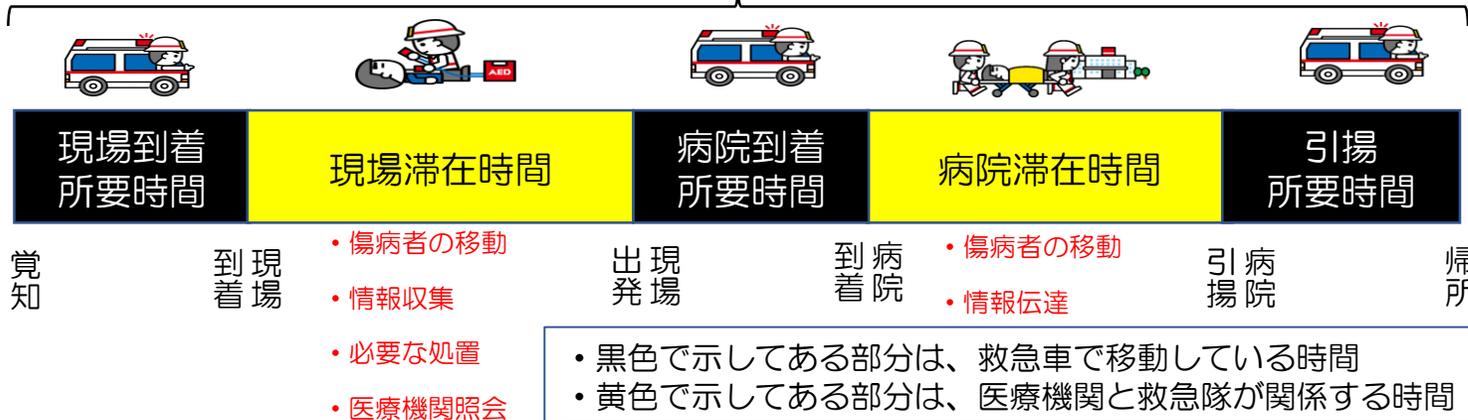
現場滞在時間が延伸

設置の経緯及び概要

【目的】

救急活動時間を短縮し、救急搬送体制を改善する。

救急活動時間



救急活動時間を短縮するために

消防局として取り組み

- ・救急隊員再教育での教育
- ・消防隊との連携活動 など



医療機関と協力して取り組むことで改善できないか

【専門部会について】

救急搬送や受入れに関して、消防局、医療機関及び関係機関での苦勞や工夫があるのではないか

消防局、医療機関及び関係機関で「情報共有・交換」「課題抽出」「検討」「提案」を実施する。その場として専門部会を設置したい。

スケジュール

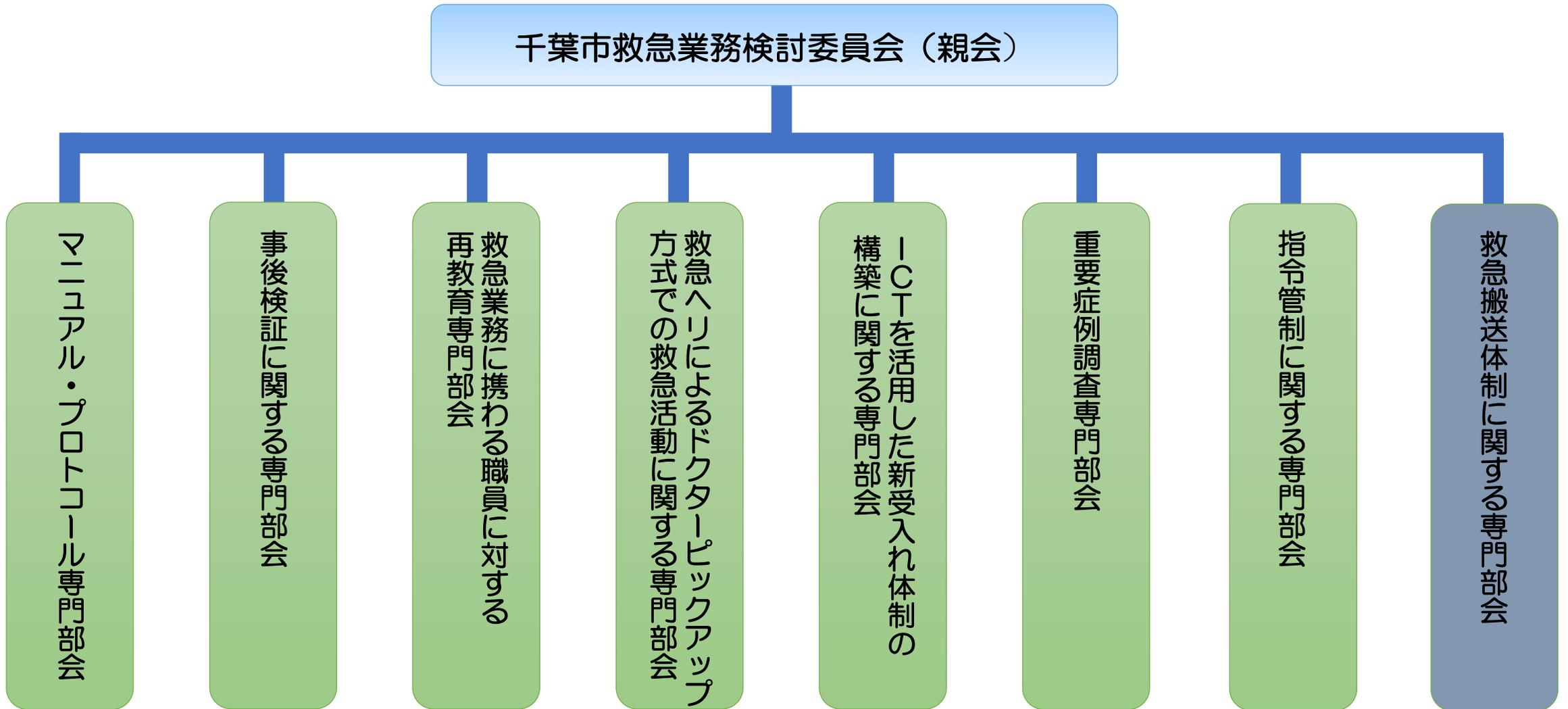
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
千葉市救急業務検討委員会	開催							開催予定	
専門部会			開催予定		開催予定		開催予定		

構成員

部会員⇒搬送困難事例受入医療機関支援事業に参加している6医療機関 + 三次医療機関（千葉大学医学部附属病院、千葉県救急医療センター）の救急受入れを担当する医師を想定

オブザーバー⇒千葉県健康福祉部医療整備課、千葉市保健福祉局医療衛生部医療政策課、救急救命士2～3人

千葉市救急業務検討委員会組織図



現在、千葉市救急業務検討委員会の下部組織として、7つの専門部会が設置されている。

千葉市救急業務検討委員会設置条例第7条に基づき、新たに「救急搬送体制に関する専門部会」を設置したい。

報告1

千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」について

報告要旨

平成29年度に開始した千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」における令和2年度の実施状況等について報告するものです。

千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」実施状況

※1日当たりの搬送数を除き、転院搬送、家族等連絡済みのものを除外している。
 ※R2年以降は連報値。 ※各数値は個々のデータを再計算して算出している。

1 事業概要

消防法第35条の5第2項第6号（受入医療機関確保基準）の規定により、千葉医療圏における傷病者の搬送困難事例を解消させるため、平成29年度から県が事業化。

2 運用方法及び結果

年度	期間	医療機関数	適用症例		運用方法
			照会数	時間	
H29	8~3月	3医療機関 一時受入医療機関 2 ・千葉中央メディカル・みつわ台総合 最終受入医療機関 1 ・千葉大学	6回 目 から ※	照会開始 から30分 以上経過	・一時受入は 当番日制 。 例) まず①に照会。受入不能の場合は②に照会。 偶数日: ①千葉中央メディカル ②みつわ台総合 奇数日: ①みつわ台総合 ②千葉中央メディカル ・最終受入は一時受入からの転送を受け入れる。
	4~7月	休 止			
H30	8~3月	6医療機関 最終受入医療機関 6 ・市立青葉・市立海浜・千葉大学 ・千葉中央メディカル・千葉メディカル ・みつわ台総合			
	4~10月	5医療機関 最終受入医療機関 5 ・市立青葉・市立海浜・千葉中央メディカル ・千葉メディカル・みつわ台総合	5回 目 から ※	照会開始 から30分 以上経過	・ 直近順 に照会。(標榜科・当直医師情報を考慮。) ・活用するも未決定の場合は、県救急医療センター 及び千葉大学に照会。
H31 R01	11月~ (現在)	6医療機関 最終受入医療機関 6 ・市立青葉・市立海浜・千葉中央メディカル ・千葉メディカル・みつわ台総合 ・ 千葉医療センター			

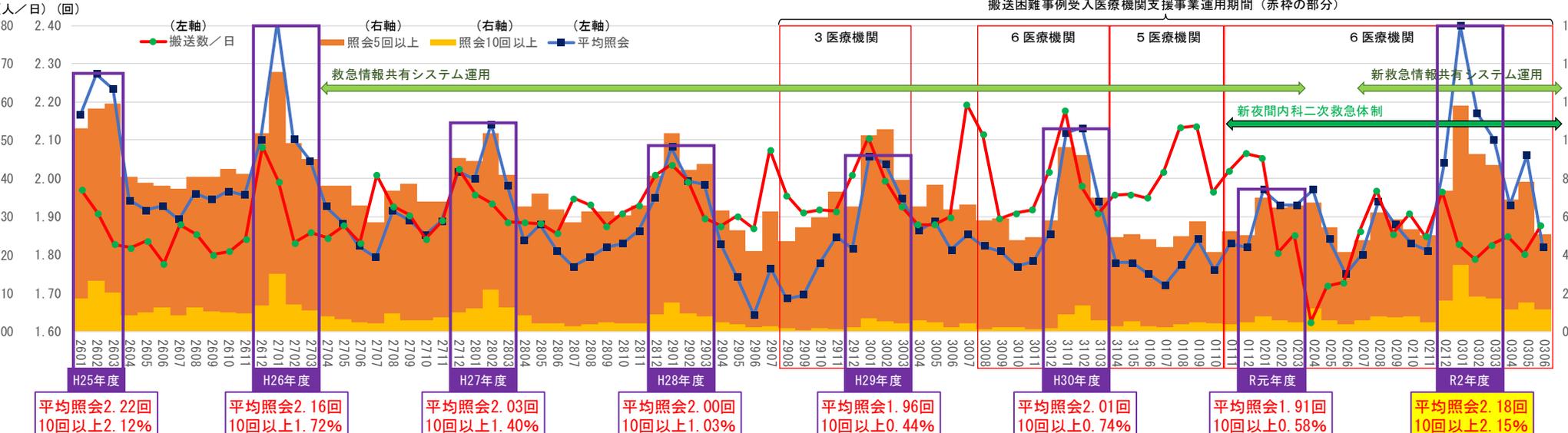
年度	運用結果
H29	①運用期間 8か月 ②対象数 26,898人 (3,362人/月) ③一時受入医療機関への照会・受入 921人照会 / 707人受入【受入率76.8%/適用率3.42%】 ④受入れに至らなかった214人について 最終的に参考3医療機関が受け入れたもの → 80人【 実質受入率85.5% 】
H30	①運用期間 8か月 ②対象数 27,251人 (3,406人/月) ③最終受入医療機関への照会・受入 1,667人照会 / 1,422人受入【受入率85.3%/適用率6.12%】 ④受入れに至らなかった245人について 県救急医療センター及び千葉大学が受け入れたもの → 51人【 実質受入率88.4% 】
H31 R01	①運用期間 12か月(うち5医療機関での運用は7か月) ②対象数 41,075人 (3,423人/月) ③最終受入医療機関への照会・受入 2,020人照会 / 1,596人受入【受入率79.0%/適用率4.92%】 ④受入れに至らなかった424人について 県救急医療センター及び千葉大学が受け入れたもの → 179人【 実質受入率87.9% 】
R02	①運用期間 12か月 ②対象数 36,133人 (3,011人/月) ③最終受入医療機関への照会・受入 2,271人照会 / 1,574人受入【受入率69.3%/適用率6.29%】 ④受入れに至らなかった697人について 県救急医療センター及び千葉大学が受け入れたもの → 291人【 実質受入率82.1% 】
R03 6月末 速報	①運用期間 3か月(継続中) ②対象数 9,101人 (3,034人/月) ③最終受入医療機関への照会・受入 529人照会 / 331人受入【受入率62.6%/適用率5.81%】 ④受入れに至らなかった198人について 県救急医療センター及び千葉大学が受け入れたもの → 89人【 実質受入率79.4% 】

※緊急度・重症度「高」は3回目から

**R2年度の冬季(12~3月)は、新型コロナの影響により救急受入が非常に厳しい状態に
 ↓
 搬送困難事例解消に関する各種事業を行う前(H26年度)と同程度に悪化**

●平均照会回数・照会5回・10回以上の割合・1日当たりの搬送数の状況(H26.1~R3.6)

注) グラフ下にある年度の数値は、冬季(12~3月)における月ごとの平均値の平均とした。
 搬送困難事例受入医療機関支援事業運用期間(赤枠の部分)



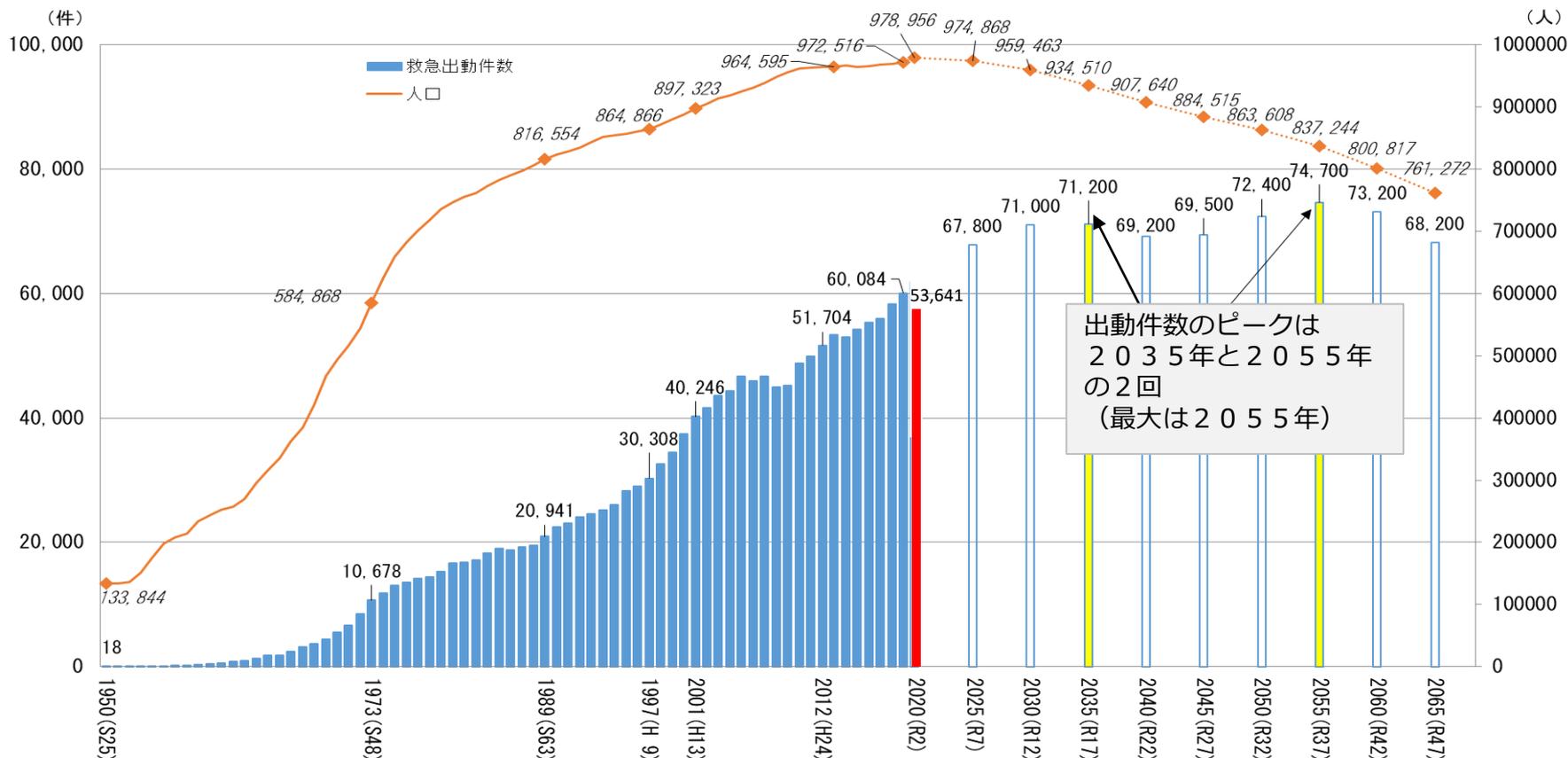


救急車受入協力一次医療機関 リストの作成について

令和3年7月8日
警防部救急課

1 事業実施の背景

(1) 救急出動の推移と将来予測



令和元年までの数値で試算。

令和2年中の出動件数は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少（53,641件）に転じていますが、現時点では高齢化の進展に伴い、増加するとの予測を立てています。

1 事業実施の背景

(2) 他政令指定都市との救急活動に要する時間の比較 (令和元年中)

※都市名は本市を除き匿名としています。(西L→西日本のL市)

現場到着時間 (119通報～救急隊到着)			
都市名		時間 (分)	ランク
西	L	6.8	1
西	M	6.8	1
西	N	7.2	3

}

現場滞在時間 (救急隊到着～現場出発)			
都市名		時間 (分)	ランク
西	S	10.0	1
西	Q	13.2	2
東	K	14.0	3

}

病院収容時間 (119通報～医療機関到着)			
都市名		時間 (分)	ランク
西	S	28.8	1
西	T	30.0	2
西	L	31.1	3

}

救急活動時間 (119通報～救急隊帰所)			
都市名		時間 (分)	ランク
西	M	49.6	1
西	S	51.8	2
西	N	54.8	3

}

東	I	9.0	18
東	K	9.1	19
千葉市		9.2	20

中央値 8.3

東	H	20.8	18
千葉市		21.5	19
東	I	21.7	20

中央値 17.9

東	H	41.9	18
東	C	45.7	19
千葉市		46.6	20

中央値 36.5

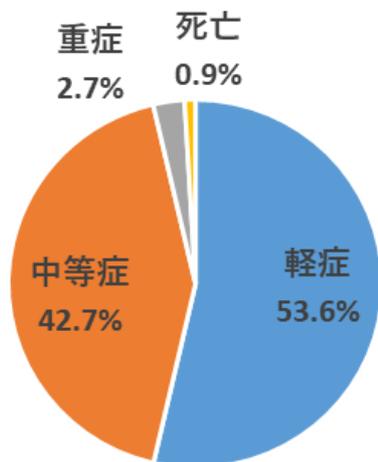
東	I	80.4	18
東	C	80.6	19
千葉市		83.6	20

中央値 64.9

- ・救急活動に要する時間は、すべての局面において政令市中でワースト1, 2位
- ・千葉市の特性として中規模(300床規模)の病院が多く救急患者を受けたくても受けられない状況になってしまう。
- ・結果、搬送先が速やかに決定せず、上記のとおり活動時間が長時間となっている。

1 事業実施の背景

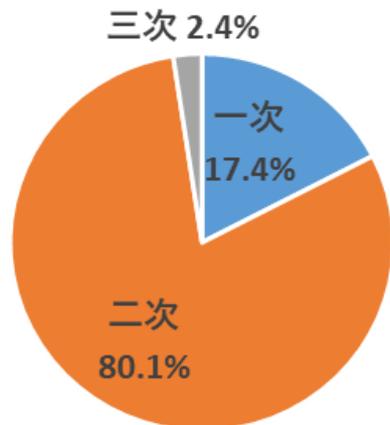
(3) 傷病程度別搬送状況（令和元年中）



- ・ 救急患者の約54%が入院加療を要しない「軽症」と診断されている。
- ・ 高齢化に伴い、1日以上入院を要する「中等症」が増加傾向

救急事故等報告要領 (S39.5.4消防庁長官)	
軽症	入院加療を必要としないもの
中等症	重症又は軽症以外のもの
重症	傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
死亡	初診時において死亡が確認されたもの

(4) 医療機関形態別搬送状況（軽症のみ）（令和元年中）



- ・ 軽症と診断された患者であっても8割以上が二・三次医療機関へ搬送されている。
- ・ 全搬送者で見ると、9割が二・三次医療機関に搬送されている。

■■ 背景まとめ ■■

- ・ 救急出動件数は2055年まで増加傾向
- ・ 本市の救急隊の活動時間は全国的に見ても長時間
- ・ 救急搬送される患者の半数以上は入院を要しない「軽症」
- ・ 「軽症」と診断された患者も8割以上が二・三次に搬送。

(1) 目的

- ・ 入院を要しない症状の患者を近医へ搬送することによる**患者負担の軽減と救急隊の活動時間短縮**
- ・ **地域と密着した医療の提供、医療資源の効率的な活用促進**
- ・ 次の救急患者に対応するための出動態勢の早期確保

(2) 事業概要

市内医師会員の一次医療機関に、救急車の受入れが可能かアンケートを実施し、受入可能と回答していただいた医療機関のリストを作成します。

救急隊が入院加療を要しない「**軽症**」と判断した患者を、リストの受入条件に基づき搬送することにより上記目的の達成を図るものです。

本事業は、行政区内に二次医療機関が少なく、市中央部から離れた緑区において平成28年8月から実施されており、一定の効果が上がったことから、本年4月からは花見川区においても実施しています。

3 緑区での実施結果

(1) 協力医療機関

緑区内全76の一次医療機関中、**42医療機関が協力**

(2) 実施結果

年別	搬送先 医療機関	件数 (件)	現場滞在 (分)		搬送時間 (分)		1件の活動時間 (分)		照会数 (回)
				△		△		△	
H30	一次	176	14.8	△8.7	9.4	△7.9	65.5	△30.9	1.4
	二次以上	740	23.5		17.3		96.4		1.9
H31 R1	一次	137	17.7	△5.8	9.8	△6.6	67.8	△25.8	1.4
	二次以上	663	23.5		16.4		93.6		1.7
R2	一次	93	16.1	△7.2	8.2	△9.0	62.2	△34.5	1.5
	二次以上	556	23.3		17.2		96.7		1.8

- ・ 転院搬送除く
- ・ 平日9~17時発生
- ・ 緑区内の救急事案
- ・ 傷病程度は軽症

- ・ 一次医療機関への搬送割合は3年平均で17.2%。本市全体の割合（12%）より5%高い。
- ・ 緑区内の一次医療機関に搬送した場合、二次医療機関に搬送するよりも、全ての場面において大幅な時間短縮が図られました。

→→→ **軽症患者への負担は大幅に改善**

4 スケジュール



アンケート送付医療機関

行政区	医療機関数
中央区	129
稲毛区	80
若葉区	57
美浜区	76
計	342

(参考) 花見川区 51 医療機関
緑区 42 医療機関

・事業開始後は、定期的（半期を目安）に活用結果を救急隊、医師会員宛てフィードバック



新型コロナウイルスワクチン接種による救急搬送について

新型コロナウイルスワクチン接種による救急搬送の状況について報告するものです。

1 市内の接種状況

(1) 集団接種

場所	接種日時	1日あたり 接種人数	接種期間	開設者
千葉中央コミュニティセンター	日曜日及び 水曜日又は木曜日	約640人	5月12日～ 終了時期未定	千葉市
イコアス千城台	週6日 (月曜日以外)	約640人	6月15日～ 終了時期未定	
花見川保健福祉センター	週2日 (土曜日・日曜日)	約300人	6月12日～ 終了時期未定	
蘇我コミュニティセンター	週7日	約600人	6月14日～ 7月31日	千葉県

1 市内の接種状況

(2) 個別接種

市内 351カ所 (令和3年7月1日現在)

(3) 職域接種

市内 15会場 (令和3年7月5日現在)

※保健福祉局ワクチン接種推進室と常時情報共有

1 市内の接種状況

更新日：2021年7月2日

新型コロナワクチンの個別接種会場のご案内



最新情報

国からのワクチン供給量が不透明なため、**7月2日（金曜日）から個別・集団接種会場における1回目の接種の新規予約の受付を一時停止**します。再開の時期等については、後日改めてお知らせしますので、今しばらくお待ちください。

なお、今回の予約受付の一時停止は、**既に予約が完了している分について、変更するものではありません**。また、既に1回目の接種を受けていらっしゃる方の**2回目の接種に影響はありません**ので、ご安心ください。

2 救急搬送状況

新型コロナウイルスワクチン接種副反応による救急出動（6月30日現在）

（1）出動件数 24件

（2）救急隊到着前にアドレナリン投与 3件

（3）不搬送 0件

2 救急搬送状況

新型コロナワクチン接種副反応による救急出動（6月30日現在）

（1）要請場所別出動数

要請場所	要請数
個別接種会場	9
集団接種会場	3
自宅等※	12

※自宅、老健施設、帰宅途中等

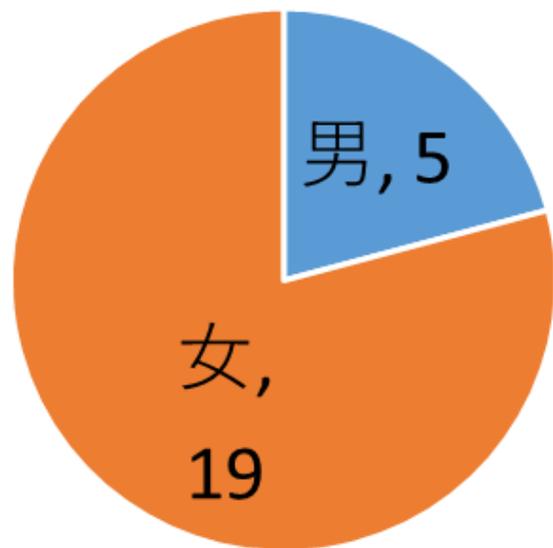
（2）救急隊による搬送先医療機関照会回数

0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
9	8	1	2	1	1	1	1

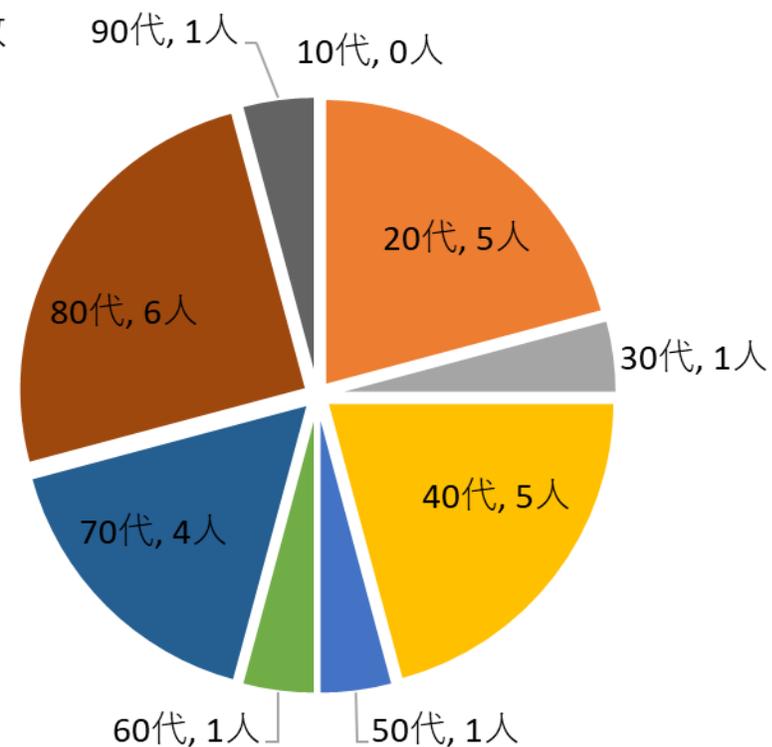
2 救急搬送状況

新型コロナウイルスワクチン接種副反応による救急出動（6月30日現在）

傷病者の性別



年齢別搬送人数



2 救急搬送状況

新型コロナウイルスワクチン接種副反応による救急出動（6月30日現在）

※主訴が複数ある場合は全てを計上している。

症状	症例数
発熱	8
気分不快（嘔気）	6
倦怠感	3
呼吸苦	2
脱力感	2
めまい	2
掻痒感	2
悪寒	2
動悸	1

症状	症例数
意識障害	1
右肩痛	1
震え	1
手のしびれ	1
顔面のしびれ	1
呂律障害	1
腹痛	1
頭痛	1